

留学体験レポート

国際学部 2年 中山未悠

1、はじめに

実践的な英語を学び、身に付けることと異文化体験を目的に、令和元年8月22日から12月12日までの間、アメリカのミズーリ州ウォレンズバーグに位置するセントラルミズーリ大学 (University of Central Missouri) へ留学しました。元々、新潟国際情報大学に入学した時から留学に行くことは決めていたので、この留学へ参加することへ迷いはありませんでした。実際にこの留学を通して体験したこと、感じたことを記していきたいと思います。

2、アメリカでの生活

ミズーリ州は、アメリカの中でも内陸に位置していて雨が少なくカラッとした気候であり、新潟よりも過ごしやすい気候に感じました。しかし10月をすぎると一気に寒くなり、朝夜の冷え込みが激しく体調を崩しても日本のように手ごろな値段で病院へ行けるわけではないので注意して過ごさなければいけませんでした。食事に関して、学校では無制限の食事プランを契約していたので、校内に2つある食堂にいつでも入ることができたため不自由に感じることはありませんでした。食堂内にはピザやポテト、ハンバーガーなどアメリカンな食事から、パスタ、サンドイッチ、シリアル、サラダ、アイスクリーム機などがありました。また、校内に寿司が売っている場所もあり、週に1度ほど寿司を購入して食べていました。

3、課外活動について

複数のクラブに加入していたり、English Language Institute(ELI)の先生方が約2週間に1度イベントを計画してくださっていたこともあり、授業以外でたくさん場所へ行くことができました。中でも、カンザスシティへは、ショッピング、食事、スケート、美術館などいろいろな目的で、たくさん遊びに行くことができました。カンザスシティはウォレンズバーグから一番近い栄えた都市ではありますが車で片道1時間程かかるため、毎回連れて行ってくれた友達や先生方にはとても感謝しています。また、アメリカンフットボールを観戦したり、焚火でソーセージやマッシュマロを焼いて食べたり、ハロウィンにはカボチャを彫ってジャック・オー・ランタンを作ったり、クリスマスが近づくと大きなクリスマスツリーを見に行ったりと、多くのアメリカらしい体験をすることができました。

4、Thanks giving break

11月の第4木曜日の Thanks giving day 前後の約1週間の休みを利用して、5泊6日でニューヨークへ行ってきました。もちろんニューヨークへ行くのは初めてであったので、安全面、交通面など不安な点も多くありましたが、事前に念入りな下調べを行ったおかげで大き

なトラブルもなく楽しむことができました。ニューヨークではタイムズスクエア、エンパイアステートビル、トップオブザ・ロック、セントラルパーク、マンハッタンブリッジなど数多くの観光名所を回ったり、ミュージカルを見たりと、とてもニューヨークを感じる充実した旅にすることができました。また、ただ楽しむだけでなく、今まで学んできたことを生かしたり自分の中の変化を感じることができた、アメリカ留学終盤のいい思い出となりました。



(左からタイムズスクエア、エンパイアステートビルからの眺め、ミュージカル CHICAGO)

5、おわりに

4か月という期間は、本当にあっという間に過ぎてしまいました。しかし、そう感じるほどたくさん経験をし、思い出を作ることができたのかと感じます。日本にいても語学勉強はできるとも言いますが、私は実際にその土地で生活してみることは語学のみならず文化や人々の考え方までも自然と吸収できる素晴らしい環境であると感じました。経験を無下にするのではなく、得たものをより一層強め今後生かしていくことができるよう努力したいと思います。